

補酵素型ビタミンB<sub>2</sub>製剤

\* **フラビタン<sup>®</sup>眼軟膏0.1%**

**Flavitan<sup>®</sup> ophthalmic ointment 0.1%**

(フラビンアデニンジヌクレオチド眼軟膏)

貯 法：室温保存

使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。

(使用期限内であっても開封後はなるべく速やかに使用すること。)

* 承認番号	22000AMX00291
* 薬価収載	2008年6月
* 販売開始	2008年6月
再評価結果	1979年2月

【組成・性状】

成分・含量 (1g中)	日本薬局方・フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムをフラビンアデニンジヌクレオチド (FAD) として1mg
添加物	エデト酸ナトリウム水和物、濃グリセリン、ポリソルベート80、ゲル化炭化水素
性状	ゲル化炭化水素を基剤とし無菌に製した黄色の眼軟膏

【効能・効果】

下記疾患のうちビタミンB<sub>2</sub>の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合  
角膜炎、眼瞼炎

【用法・用量】

通常、フラビンアデニンジヌクレオチドの0.05～0.3%眼軟膏として、1日1～4回眼瞼内に少量ずつ点入する。

なお、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	過敏症状
眼	刺激感

注) 投与を中止すること。

【臨床成績】

ビタミンB<sub>2</sub>欠乏又は代謝障害が関与すると推定される角膜炎、眼瞼炎に対して本剤の有用性が認められている。<sup>1,2)</sup>

【薬効薬理】

- ウサギの角膜切片の組織呼吸に及ぼすビタミンB<sub>2</sub>の影響を検討した結果、FADは角膜の酸素消費能を増加させ組織呼吸を亢進したがリポフラビン及びFMN (Flavin mononucleotide・リン酸リポフラビン) では、このような作用が認められなかった。<sup>3,4)</sup>
- ビタミンB<sub>2</sub>欠乏ウサギの角膜中のビタミンB<sub>2</sub>量は、FADの点眼により増加した。  
また、ビタミンB<sub>2</sub>欠乏ウサギに出現したびまん性表層角膜炎の症状は、FADの点眼により改善が認められた。<sup>3)</sup>

【有効成分に関する理化学的知見】

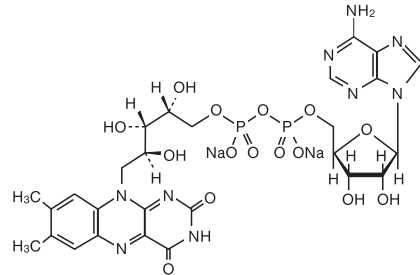
一般名：フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム  
(Flavin Adenine Dinucleotide Sodium)

化学名：Disodium adenosine 5'-[(2R,3S,4S)-5-(7,8-dimethyl-2,4-dioxo-3,4-dihydrobenzo[g]pteridin-10(2H)-yl)-2,3,4-trihydroxypentyl diphosphate]

分子式：C<sub>27</sub>H<sub>41</sub>N<sub>9</sub>Na<sub>2</sub>O<sub>15</sub>P<sub>2</sub>

分子量：829.51

構造式：



性状：フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムはだいたい黄色～淡黄褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味はわずかに苦い。水に溶けやすく、メタノール、エタノール(95)、エチレングリコール又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。  
フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムは吸湿性であり、光によって分解する。

【包装】

フラビタン眼軟膏0.1% チューブ入 5g×5個入

【主要文献】

- 芳浦宏明：眼科臨床医報, 54, 776(1960)
- 古城 力：臨床眼科, 13, 1450(1959)
- 船津英裕：日眼会誌, 62, 1668(1958)
- 船津英裕：日眼会誌, 63, 461(1959)
- 篠塚清志：日眼会誌, 65, 1129(1961)

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】\*\*

トアエイヨー株式会社 信頼性保証部  
〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-300  
\*\*電話 0120-387-999 048-648-1070